

# まちサミット「かわと」

## ～川跡の未来・夢を語る集い～



### 【まちサミットかわと】特集号

11月29日(日)『まちサミットかわと』～川跡の未来・夢を語る集い～を開催しました。未来を担う若者たちのしっかりとした素晴らしい意見に会場の皆さんは「自分たち大人が動き出さねば！」と強い刺激を受けました。またこんなに立派な次世代がいる川跡は素晴らしいと誇らしく思いました。地域のたくさんの皆様に当日の意見発表の様子をお伝えしたく、今回特集号のセンター報を発行します。発言をそのまま活字にしておりますので、読みにくい点があると思いますが、ご理解ください。

パネラー(意見発表者)

- 伊藤 隼さん(北陽小5年・中野美保五)
- 深田想大さん(出雲三中3年・高岡町)
- 長崎耕作さん(島根大学2年生・高岡竿井手上一)
- 和泉三恵さん(荻杼第五)
- 藤原恵美子さん(高岡西)

コーディネーター 花原良治センター長  
司会 坂本君代チーフマネジャー

**坂本** さて私がなぜ「まちサミット」と名付けたかという頂上とかいう意味がありますね。次世代を担うリーダーが集い、学び、意見交換し将来のビジョンを描くための場を持ちたかったからです。皆さんにとつて川跡はどんな故郷ですか。故郷の言葉の響き、温かいですが、今は密になつてお聞きいただきたいと思います。先程ここで待機している時に大きなため息をしております。それは伊藤隼さん、お願いいたします。

**伊藤** 私は北陽小学校5年生の伊藤隼です。僕が考える川跡の良さ、魅力は4つあります。1つ目は地域の皆さんが優しく接してくださることです。僕は一年生からチャレンジ広場や和太鼓、夏休み学習広場で川跡コミュニティセンターに行く地域講師の方から教わってくださりました。また夏休み学習広場などで、体力づくりのためになるべく歩いて通うようにしていました。中野に住んでいるので徒歩30分かかるけれど、僕が歩いていると途中で出会う地域の人が「頑張っているね」とか「すごいね」など声をかけてくださつてうれしかったです。

2つ目は夏休み学習広場やチャレンジ広場で色々な年代の方々と関われることです。お父さん、お母さん位の方々とおじいちゃん、おばあちゃん位の方々の年齢の方からたくさんのお話を学べます。3つ目は登下校で地域の方々が見守つてくださることです。僕が登下校中に良いことをしても悪いことをしても、すぐに父、母、祖母の耳まで届きます。(会場笑)でも家族の耳に届くのは皆さんが見守つてくださつていてくれるからです。通学路に立つておられる地域の方々や川跡見守りパトロール隊さん、川跡コミュニティセンターの職員さんの見守りで、僕は安心して登下校ができます。「たくさん見守つてくださる方々があられて、ありがたいたいね」とよく家で父と母と話します。

4つ目はやはり支えてもらっていることを実感できることです。僕は一年生のころ、学校までが遠くて学校に行きたくないと思う時期もありました。でも僕が泣きながら登校しているときに、隼君がんばれ、フアイト」と声をかけてもらつて、頑張つて歩いて学校に行くことができました。5年生になつた今でも忘れることなく覚えていきます。たぶん僕を応援してくださる方々の思いが伝わり、僕も頑張らないうまく、と心のどこかでいつも思っているからだと思います。また笑顔で「おはよう。今日も一日頑張つて」と声をかけてもらいます。地域の方々の応援や励ま

しがあつてこそ、ここまで成長してきたと思います。次に川跡地域活性化について考えてみました。今でも十分魅力的な川跡ですが今以上に魅力的な川跡を創るにはどうしたら良いか考えてみました。一番に思い付いたのは野球場を造ることです。僕は3年生から入った少野球を習っています。なのでたくさん野球ができる球場が欲しいと思います。

でもよく考えてみると川跡には北陽小グラウンド、河川敷があるし野球場を造るには場所もお金もかかるので別のことを考えてみました。そこで思い付いたのは川の自然を活かしたキャンプ場です。僕は小さい時から家族でキャンプに行っています。キャンプは自然と触れ合えたり、飯盒でご飯を炊いたり、普段経験できないことが出来ます。また今は新型コロナウイルスの関係で、今までの生活が変わつてきたり、全国各地で起こる自然災害では避難生活をしなさいといけません。そんな時にキャンプの知識や経験が活かされます。また僕のおじいちゃん、おばあちゃんもキャンプに行つたことがありません。近くにキャンプ場があれば招待してあげることが出来るので、ご飯を作つたりテントで泊まつたり一緒にいるのをやってみたいです。

おじいちゃん、おばあちゃんだけではなく課外授業や幼稚園や保育園でも気軽に行ける施設を造ることやキャンプ場があつたらいいと思います。施設を造ることだけでなく、今のままで川跡の魅力をPRすることや川跡の活性化につなげ人口を増やすことにつなげられるか考えてみました。人口を増やす方法は「かわとひめ」を有名にするのマスコミやYouTube、かわとひめの人形や着ぐるみを作るといいと思います。かわとひめの人形や着ぐるみを作るといいと思います。かわとひめの人形や着ぐるみを作るといいと思います。

**花原** 川跡の良さをPRするのいいと思います。川跡をPRするのいい方法の一つは総合的な学習の時間で再発見した地域の良さを活かしながら川跡を有名にして人口を増やして、活気のある川跡を創っていくことです。最後に、僕は今はチャレンジ広場や和太鼓をやっています。最後に、僕は今はチャレンジ広場や和太鼓をやっています。最後に、僕は今はチャレンジ広場や和太鼓をやっています。

**伊藤** デアがありがとうございます。川跡には斐伊川という自然に恵まれた川があります。斐伊川は斐伊川の川跡敷に作るのいいと思います。斐伊川の近くに斐伊川の川跡敷に作るのいいと思います。斐伊川の近くに斐伊川の川跡敷に作るのいいと思います。





したが、ご清聴いただきありがとうございました。

**花原**  
自治協会で取り組んでいらつしやるのが加入促進です。またフロアーの方からも後で意見交換してもらおうというかなと思えます。長崎さんに質問ですが、動き出すという事なんです、長崎さんの年代は何かチャンスがあるという事出してもらえるような、それこそ動きになっていくような可能性ってありますか。

**長崎**  
島根大学の教育学部で言いますと1000時間体験学習というのがあります、学生の皆さんはそれで時間を稼ぎたいというのがあります、松江とか鳥取は活動が多いんですがこの出雲地域はあまりなくて、出雲から通っている人も結構いるんですが、その活動で、例えばふるさと祭りのお手伝いとかで県大の人を呼んでおられると思います、そこで設置していただけたら、他のボランティア活動とかで1000時間体験学習を設置していただけたらとすごく飛びついてボランティア活動に参加してくれるので、自分はもちろんなら参加したいです。

**花原**  
というのが、勤めて三年目になるんですけども、非常にこの地域は優しいし、特に小学生向けの活動に対して非常に温かく見守っていただいているのを感じてます、そういう事に関わっていただいている方が色んな所に関わっておられる状況なんです。これから更に新しいことを始めていこうとする時に総論は賛成だけれども、じゃあ自分が動き出す立場になった時に首を傾げられてしまうと、もう無理ですとなるので色んな年代の方たちが少しずつ動き出していただけるような事がたくさん集まってくるといいななことができていく気がしています。色んなお願いの仕方をすると、片一方が良くて片一方が仕方なしでやっておられるのではなく両方がウインウインでできるような状況であればそれが非常に良いと思います。ぜひ声をかけさせていたいただきたいと思えます。自治会の方々もお願いをされると思えますので是非協力してやってください。ありがとうございます。

**坂本**  
長崎さん、本当に素晴らしい意見をいただきました。お父さん譲りの熱のこもった語り、幼かった耕作君が二十歳になつたんだなあと思ひました。いつもボランティアで家族ぐるみで地域の中に入ってくださっているからこそ、こういつた意見が出るんだなとつくづく感じさせてもらいました。では続きまして大人代表、子育て世代代表として和泉三恵さんお願いします。

**和泉**  
こんにちは。荻野町の和泉三恵です。私は香川県で生まれ育つて長野県に進学して就職して出雲にやってきました。11年前くらいから川跡に住んでますけれども、この話を聞いてどういふ事を話そうかと考えたんですけど、子どもといふもどゆう風に通じているか話させていただくことで川跡の良さを表現できるのではないかと思ひ

ましたので、我が家の休日について話したいと思ひます。気を楽に聞いていただけたらと思ひます。この写真は5年くらい前なんです。上の子はもう中学校一年生、下の子は小学校一年生になりました。私の仕事の都合で上の子は7か月から、下の子は5か月から保育園に行つてるんですけども、保育園ではよく散歩に連れて行つていただけて、そのお土産としていいの実はたりとか5粒くらいのおむかごや3、4枚のよもぎだつたりとかを持って帰つては晩御飯に出してと言われるので、いつもおちよつとした料理を出してはいたんですけど、よく毎年春になると親子で川跡のまちを散歩してつくしを摘みに歩きます。つくしを摘んでみると「何してんの」と声をかけてくれる時もあります。「そこは除草剤してるから取らない方がいいよ」とか「庭にたくさんあるからとっついていいよ」とか声をかけてくれる方もたくさんあります。私はかえるは苦手なんですけれども、うちの子どもたちは全然平気で、上の子は夏の自由研究で初めて賞を頂いたのは「カエルは忍者になれるのか」というタイトルでカエルの保護色の研究だつたんですけれども、朝一番からカエルを捕りに行つて、何とか色を変えようと頑張つたんですが、台風で小屋をつぶされてしまつて、カエルが逃げたしまつて最終的には終わつてしまつたんですが、この時にカエルに注目しながら散歩すると結構保護色に変化しているカエルが多くて、こういうのを採しながら散歩するのも楽しいです。このカタツムリも家の近くで大きいカタツムリとちつちやいカタツムリと両方見つけることもあって、カタツムリは殻を脱ぐとなくこのまま成長していくので、この成長過程も調べてみると面白いんじゃないかなと思ひます。これは先日散歩して、たまに信号機（取り外され横たえられた信号機）をみつけたまま、普段何気なく見ている信号機も近くで見るとこんな大きかつたんだなとかLEDになつたらこんな薄くなつていてんだなと思つたり、これも歩いてるからこそ発見できたことだつたと思ひます。よく散歩で松ぼっくりをとることもありますが、松ぼっくりも閉じてる時と開いてる時、どういふ時に開いているかを親子で考えたりとか、私は答えを知つてはいるんですけども、子どもに問いかけてみたりとか、それを使つて実験してみたりとか、松ぼっくりは晴れてると開いているんですけど、開いてる時に種を飛ばすんです、松ぼっくりの種の形も良く観察してみると面白い形になっていて、同じような形で種を飛ばす他の植物を探してみたりとか、一つの散歩でも色んな発見が出来ます。うちのの子は小学校時代よく地域の行事に参加させていただし、とんださんの火をつけたこともあります、キャンブだつたりとか芋植えだつたり、スキー教室だつたりとか、チアダンス、銭太鼓、茶道もやつていて丸一日コミュニティセンターで過ごすような日もたくさんありました。AIがどんどん発展していく中で、子どもたちの今の時代は人が創造する力、自分たちで創り上げていく、それを主体的に発信させていかなければいけない時代がやつてくるんですけれども、それをするためには人が考えたりとか考え

ぬいたりする力が必要で社会のコミュニケーションが必ず必要になつてくるんです。そのコミュニケーションも人との説明をしたために、人をまとめさせることが必要になつてきます。人と人とを結びつける力をつけたりするのは、やはり家庭だつたりとか地域だつたりすると思ひますので、家庭の中で学びあえたりとか、地域の中で学びあえたり、異世代関係で学びあえたりとか、それは結局的にできるのはこの川跡地区ではないのかなと日々感じています。



最近の我が家のお気に入りの散歩はスケッチブックを持って歩くんですけども、地図に描きながら自分が歩いた道を縮尺は全然バラバラなんですけれども、その日によつて意識に注目してみたりとか線路の信号機に注目してみたりとか、いつも入つていくことのないような小道に入つた時に「あ、結構子どもは地図に描き歩いて道が出てきたりとか、結構子どもは地図に描き歩いてそれがつながつて色々な発見があつて楽しいよ」と、いつも最近スケッチブックを持って歩いていきます。これは斐伊川土手です。斐伊川土手は芝ソリや花壇があり、写真でも上のお姉ちゃんたちは結構インスタ映える写真を撮る友達と撮つたりとかしています。この写真もこんな撮り方をするのは私の考えの中にはなかつたんですけども結構楽しめました。土手の周りは電線がないので我が家はいつもよく凧揚げをします。凧も子どもが自分で保育園で作つて絵を描いて色塗つて手作りしたもので、いつもこれも持って土手へ行つて凧揚げをして遊んでいきます。この冬は大雪が降る予想なので、雪が降つたらまたソリをしても楽しみたいと思ひます。お正月にはまた凧揚げしに行きたいと思ひます。皆さまもぜひ土手の方へ遊びに行つてみてください。以上です。ご清聴ありがとうございました。

**花原**  
いいなと思つたのは、時間の使い方です。人間使える時間は同じなんですけれども、その使い方によつて生活が非常に豊かになるんだなというのを話して聞いて感じました。その豊かさを子ども達のものから発見したりとか、それから学んだりとか、その中で親子の会話があつて近くの人と話ができコミュニケーションを高めたい。本当に時間の使い方で人生いろいろです。川跡の良さを生活

の中に取り入れてもらっている、本当に素晴らしいと思  
います。一つ斐伊川の方にずい分出かけていらつしやる  
けど、斐伊川には皆さん気が付いてないけれど、季節ごと  
にこういう風なものがあるのか、こういう風なもの  
が生活の中で活かせるものがありますよというところが  
たくさんあります。

**和泉**  
斐伊川は夏は特にですが真ん中の所に池があつて、そこ  
にエビとかメダカが捕れるので、それを捕りに行くこと  
も多いです。花が咲くと蓮華やしろつめ草を輪つかに  
して遊んでみたりとかバツタとかもすべいたくさんいる  
ので捕りにいつたりとかです。虫で遊ぶことが我が家  
は多いので虫捕りに行きます。

**花原**  
伊藤君の話にもあつたんですけども、何か  
斐伊川には私たちが知らないまだ良さが、  
活用できる良さがたくさんあるような気が  
して、それを発信できるというな気が  
すけども、その話になつた時にじゃあ誰か  
やれよということになつた時に、今お話し  
したように本当に一生懸命やつてくださ  
っている方はもう本当に目いっぱい、手い  
っぱいだと思つて、ここでもやつぱり新し  
く発信していく時にそういう事に關心があ  
る方から少し発信していいんだけどよう  
な取組みができる、本当に川跡のまだま  
だ知らない良さを発信できる良い方法にな  
るんじゃないかなと思つてました。



**坂本**  
はい、ありがとうございます。遠ちゃんと縁ちゃんの  
あの素直な良い性格は、こんな素敵な子育てを皆さん  
がしていらつしやるからなんだなとつくづく思つていま  
す。ありがとうございます。それでは最後に藤原恵美子さ  
んにお願ひいたします。

**藤原**  
皆さんこんにちは。私は高岡西町内に住んでいます。そ  
うそう最初におかたないといけなかつたです。60  
代として参加させていただきました。こちらは出雲市にご縁  
雲南市で育つたのも雲南市です。こちらの出雲市に20年が  
過ぎたところです。川跡に住居を構えようという既に20年が  
過ぎたか病院が近い、歳とつても病院が近い、利便性の  
なという気持ち。それから歳とつても便利がいいので住  
みやすいかなという事と、それからやつぱり買ひ物に行  
くにも近いところにあつた方がいかなとか、学校が集  
中してあるというの大きな決定した理由でした。雲南  
市とはまた違った自然の豊かさや歴史がすごく深いとい  
うところも川跡を選んだ結果でございます。住んでみて  
やつぱり集中してあるというの大きな決定した理由で  
した。

雲南市とはまた違った自然の豊かさや歴史がすごく深い  
というところも川跡を選んだ結果でございます。住んで  
みてやつぱり本当に川跡に住みやすいところだな、あつ  
たかい人達が多いなと思ひながら日々生活して感じてい  
るところです。もちろん家族もそのように思つています。

最初に家を建てたときに、私は高岡西町内というところ  
はいつたどこからどこまで高岡西町内なんだらうと  
いう不安な気持ちがあつたんですけど、当時、町内  
会長さんをしていらつしやる方が一軒一軒私を連れて歩  
いてくださつて、近所の方たちとお顔をつないでくださ  
る事をしてくださつたお陰があつたからこそ、地域で安  
心して生活できる第一歩だつたように思ひます。やつぱ  
りみなさんの優しさや安心して暮らせるようにとのご  
配慮だつたのではないかなと思ひます。それも町内会に  
入る入らないの問題ではなく、入るのが当たり前だつた  
時代だつたので、町内会があつたお陰でみなさんと心や  
すくなれたというのがあります。だからやつぱりそこか  
ら自治協会へ入つていくという流れで抵抗もなかつたで  
すし、受け入れてくださる皆さんもあつたかく受け入れ  
てください、それから町内の委員をさせていだけたり、  
こうして自治協会やコミセンの色々な役をさせていだけ  
たり、

中で、地域の方とより広く親しくさせていだけたり、  
それから自分も楽しい気持ちを持てること、自治  
会に入ることですごく大きなメリツトを頂いたという結  
果があります。今も皆さんと出会えて、こうやつてこの  
場でお話ができることもすごくありがたいことだと思つ  
ております。やはり人と人とのつながりというのは、と  
ても大きいんだと思ひます。

私は今現在、川跡地区で民生児童委員と保護司の方の活  
動をさせていただいておられます。生活の中で要支援者の  
方が困られたことがあれば専門機関に繋いだり、安心し  
て過ごされるようにコーディネーター役をさせていだけ  
ています。要支援者の方を訪問しますと一人暮らし  
の方もいらつしやいますし、ご家族と一緒に暮らしてい  
らつしやる方もおられますが、訪問しますと「もう自分  
の存在をわかつてもらつてほかに安心だわ〜」などとおつ  
しやつてくださいます。そう言われるとこの方を不安に  
させないように声かけをしたり、見守りをしてあげないとい  
けないなと感じます。地域でみんなで守つてあげないとい  
けなくする運動」というのがあります。川跡地区の小学  
校や中学校に作文や標語をお願いして、川跡地区の小学  
校とその作文や標語の中に書かれています。そうす  
地域の皆様の温かい眼差しや声掛けに感謝するといふ  
内容が多くて、川跡の皆さんが本当に地域の子どもたちが  
健全に育ちますように意識をしてくださる、見守りをして  
くださるお陰だなと感じております。今年には「社会を明

くする運動」標語の大賞は「おもいやり あなたの笑  
顔を まちづくり」というのが大賞に上がりました。川  
跡の思いとつしよかなと感じております。

先程から色々自然のことが出ています。私が川  
跡の好きなところは自然が美しく豊かだといふところ  
とか、四季折々の景色があつて美しいスポットがたくさ  
んある、歴史がたくさんあることで、私自身もまだ川跡  
を訪れてないところもあります。そういうところも紹介  
していただくことが大事かなと思つております。今年も行いま  
したけれども、いきいきまちづくり部で毎年、「夏の夜  
の語りべ」として郷土史の勉強会をさせていだけたいてお  
ります。今年にはコロナの関係で「秋の夜の語りべ」とし  
て開催しました。藤岡大拙先生に来ていだけた大変大盛  
況でした。

民生児童委員の中で「赤ちゃん訪問」を出雲市から委託  
されてやつておられるんですが、その中でお母さんたちから  
聞かれることが色々あります。川跡は自然がいっぱいで  
すけども子どもの遊び場はどこかありますかとか、  
近所に子どもさんおられますか、何して遊んでおられま  
すかとか、めだかはどこに行つたら見られますか、自  
転車の練習はどこでしたら良いですかとか、保育園はど  
こにありますか、近くにありませんかと色々聞かれます。  
私自身が把握していることだつたらお答えできますすけれ  
ど、お答えできない、紹介できないこともあつて自分自  
身のことをお話しされても多々あります。和泉さんが先程自然  
の自然のある場所とか遊び場だつたり、公園だつたり歴史  
を知る名所とか神社やお寺とかを掲載したマップを作  
製してみようかなと考へました。そして川跡が自慢  
できるところを新しく来られた皆さん、家を建てられた  
方や地元に住んでいてもわからない方たちにもつと知つ  
ていだけたいなというのあつて、足を運んで新たな  
発見をしていだけたいなと思つておられます。

現在、私は自治会加入の声掛けに関わらせていだけた  
おりです。今加入の声掛けに関わらせていだけた  
などや戸別訪問して来られた、関心を持っていだけた  
ように促進に関わつてこれらの方々の努力や大きな力は  
本当にすごいなというのを、私も声をかけながら実感  
しています。やはり若い世代の方が地域に溶け込んでい  
くにつか、お声掛けをするとか、若い人の声を聴いて吸  
収し、こちらも受け止めてあげるとか、どんな思ひで  
られるかなという気持ちを聞くことが大事かなと思つて  
います。一か月くらい前でしたが、近所でお家を建て  
て訪問させていただきました。加入のことも併せて  
したが、ご主人様が言われた言葉が、家族に恩恵がある  
ことの情報をおつしやりました。その言葉を聞きま  
してやつぱり若い方たちは、この地域に馴染みたいとい  
う気持ちがあるのではないかな、という意識を感じさせ

ていただきました。今、自治会に加入することで安心して住める、不安の解消にもつながるという思いをもたれるように、受けいれる側がもっともつと関心を持っていただけるように、そつと寄り添っていくことが大事なことでないかなと思えました。それから長崎さんがお話されたんですが、「夏休み学習広場」はいきいきまちづくり部でも継続事業として行っておりまして小学生同士の繋がりは学校ばかりではなくて、地域の力が必ず必要だということも、子どもさんと一緒に接していきながら感じていきます。地域の方との関わりの中で子どもが育つのはすごく大きな力となり、大人になっていく過程で大事なことでと思いますので、未加入の世帯の方には地域で育つ、子どもを育てるメリツト、コミセン行事の力を理解してくださる事でどんどん参加していただける、そういうことをお伝えすることで加入促進を進めていけるチャンスをいただけるのではないかなと思います。

最後にいただきましたけれども、これから地域の課題はやはり防災とか災害対策ではないかなと思います。安心して暮らしている普段の生活からは見えませんが、何かが起きたときに、実際に隣りに誰か住んでおられるのかかわらず、もし逃げ遅れられても気が付かないようでは困ると思います。普段からのあいさつや声掛けとか、道端で会ったら世間話を通して町内会の家族構成がわかっていないとつきあつていけないのではないかなと思います。そういう事が基本にないとまちづくりができていかないんじゃないかなと、だからそのあいさつとか声掛けとかが土台にあつて、底辺にあつて、それからそこがまとまっていけば街づくりに大きい効果を出すのではないかなと思います。やはりそれが自治会加入率にはつとつながっていくと思います。何かあれば頼れるのはやっぱり遠い親戚より隣り近所、近くの他人といひますけれど、それが大事ではないかなと思います。やはり最後に私は自治会に入つて助け合うことが大事なことを若い世代の気持ちに聞きながら、私自身も伝えていきたいなと思えます。ありがとうございます。

### 花原

この会もいきいきまちづくり部の皆さんに色々工夫していただけています。いきいきまちづくり部の活動に参加させていたただく中で、一番感じるのが、例えば「夏休み学習広場」だと昨年の反省を活かして、今年どういう風にしていくのか、こうしてみようか、子どもたち自身の出番を作った方がいかな、じゃあこういう風にしたらそれがうけるかな、ただそういう風な事業を進めていける時に、丁寧な継続、やつて反省してやつてみて、良いところ悪いところをもう一回出して反省する、このサイクルが非常に大切にしてもらいたい、その中で親世代からしても非常に子どもさんを、例えば学習広場に行かせるにしても、いろんな面で安心だし、安全の面もこれなら大丈夫だと、子どもを通して親世代がコミュニケーションセンターの事業に対する安心

感とか期待感とかを持っていただけると。本場に繰り返していただけてます。加入促進についてはその通りだと思えますが、なかなか言つのは簡単だけれど、なだけども、これからフロアーの方と意見交換していただけると良いアイデアが浮かんで、浮かんだアイデアをどう活かすかというところまで何か踏み込んで、また来年同じ話になつて終わつてしまつようならちよつと残念ですね。たとえばまた来年同じようなメンバーで続けてやつてもらつたわ、来年こんなことができまして、できそうという話が出て、じゃあそれをどう活かすかという風なことに、この会そのものがですね育つていくという風な時間となつていくんじゃないかなと思いますので、ぜひ積極的にご意見をいただきたいと思います。

### 坂本

はい、パネラーの方、素晴らしいご意見をありがとうございます。先程から出ている「チャレンジ広場」とか「夏休み学習広場」とかも、もう16年ぐらい継続しています。ずつと昔から着々と続けてきた事業が子どもたちに沁みついてきていてのをとても嬉しく思つております。感想でもなんでも良いです。お願いしたいです。挙手をお願いします。お願ひします。北陽小学校の森校長先生、今日おいでになっております。挙手の発表も含めてご感想をいただけたらと思います。お願いいたします。

### 森校長先生

まずは隼さん、お疲れさまでした。あなたが何を語るかなあと思つてとても楽しみにして来ました。良くやりました。隼さんがみなさんにお伝えしたこと、本日も僕も学校の代表としてとつても嬉しかったです。何が嬉しかったか地域の方にしつかり関わつてもらつていることが子どもには伝わつていっているんだよというの、皆さんに伝わるといいなという思いをいつも思っていますので、ちよつとでも感じていただければと思いますし、小学生も川跡の未来のためにあれだけ考えているんだな、5年生です、来年6年生です。また楽しみます。また、深田さんも長崎さんもお二人ともですね、隼さんと同じ事を言つてくださつていてる場面がありまして、それは小学校の時にとても良い体験をしたと、地域の人にしつかりと関わつてもらつて、それが良かったというプラスの感情をもつてもらつたというのが僕はとつても嬉しかったです。学校も



地区と一緒に子どもを育てていこうと思つてますので、そういう意味で学校でできることは、今やつていられる方としっかり交流しながら関わり合いながら、一緒に子どもを育てていこうと思つていきます。それがこういふステキな中学生、大学生になつていくんだなと感じています。学校の方も頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

### 坂本

ありがとうございます。それでは続きまして出雲三中の大樹教頭先生、感想お願ひします。

### 大樹教頭先生

失礼します。出雲三中教頭の大樹でございます。川跡地区の皆さんには日頃大変お世話になっております。今日は生徒会長の深田君が発表しました。今年度コロナ禍という事で、三中の生徒会活動も色々あつたんですが、いろんなところで計画がうまくいかなかつたり縮小になつたりと、本当に会長は大変だつたと思つています。その中で一生懸命生徒のために三中のために頑張つてくれたことに、個人的な思いですが感謝しております。最初に紹介がありましたけれども次期生徒会長も川跡地区の生徒、松田君という生徒ですが引き続き三中を担つていく会長として頑張るんじゃないかなと思つています。個人的な意見ですが、今日このような状況の中で、小学生、中学生、大学生の皆さん、そして地域の皆さんがこうしてパネラーとしてサミットを開かれたという事、すごいなと、これができる川跡地区はすごいなと正直感じました。それから自分の子どもはもう二十歳を過ぎましたけど、いろんなところへ連れて行きましたけど、一番印象に残つていのは家の周りで遊んだこととか地域の中で色々やつてもらった事、案外そんなことしか印象に残つていないことをよく私に言いました。そういう事もやはり大事なことだ、地元の中で子どもを育てることはすごく大事なことだ、地元の親としても感じております。今後とも川跡地区の皆さんよろしくお願ひしたいと思います。また川跡学校の方にも温かいご支援よろしくお願ひします。以上でございます。

### 坂本

ありがとうございます。他にいらつしやいませんか。(岡村さん挙手)ではよろしくお願ひします。

### 岡村

今日はありがとうございます。稲岡町の岡村といひます。私は介護関係の仕事をしていまして、長崎さんとか深田さんにぜひご意見伺いたいんですけども、川跡の未来・夢を語る集いという未来に向かつて行つていけるのに、こういう話でいいかどうかかわからないんですが、私も含めてちよつとできることがなくなつたり、ちよつと物忘れしちよつとたなという事が出てきたりして、例えばこういうことができたらいいなとかあれば聞かせていただきたいと思います。

**深田** さつきも言ったんですが、先ずあいさつ運動とか、やっぱり子ども元気は地域に貢献できる一番の原石のような材料になると思うので。今年はまだ規模を大きくしていなかったんですけど和実祭、体育部門・文化部門を毎年やっていきます。これもやっぱり地域の皆様の支援なしでは行えませんし、僕らも今年のスローガンを集大成としたんですけど、その努力の集大成を地域の皆様に見せたいんです。来年は和実祭やあいさつ運動など生徒会活動は続いていきますので、引き続きご支援とまたできれば少し目を向けていただければなと思います。

**岡村** ありがとうございます。

**長崎** 自分はやはり先ず、お年寄りというか物忘れしてしまふなあという方々と若い人が触れ合う事がすごい大切だと思っていて、なかなか若い人って自主的にお年寄りと関わろうとする人は少ないと思いますけど、最初は何か義務的に何かイベントしなさいみたいな感じでとりあえず関わってもらうことがすごく大切だと思っています。その後強制的な言い方をすると悪いんですけど、その関わった中で、あつこんな良いことあつたんだとか自分こんなことが出来るんだとか、若者が思えるようなことがあれば、絶対その学生たちは続けてくれると思うんですけども、自分も実際に1000時間体験学習の中で、これがいなという学習は続けています。なので先ずは何かしろのイベントを作る事です。さつき深田さんが言われたように、あいさつ運動とか、会場後方に県大生の作られた「メッツかわと」が掲示してありますが、あのように関わることがすごく大事だと思っています。

**岡村** ありがとうございます。お酒飲み過ぎたり、たばこ吸ってことよりも、何か人との関わりが無いってこと自体の方が命が短くなるという研究もあるらしいので、ぜひ若い方に広い世代に関わっていただいで、英気頂けるといいかなと思います。よろしくお願いします。ありがとうございます。

**坂本** 今こちらとしても、そう言った場を提供することを考えています。他にはございませんか。はい、どうぞ。

**佐野** 私は中野町の佐野と申します。今日は若い人たちから色々な意見をいただいで、随分刺激になったといいますが、ありがとうございます。私は川跡に住んで40年ですが、子育ての環境だとかいろいろ意味で良いところだと思っっています。ただですね、以前から思う事は下水という排水路が汚いと思います。ゴミとかが固まって、それが一部ではなくて全体的に汚いなど、ただ一年に一回地域全体での排水路掃除があります。あれは非常に良いこと

だと思いがすが、どうしても一年に一回となるとその間にだんだんとゴミが溜まったりして、私も気になってせいで私の家の周辺はできるだけ私の家族的に排水路の清掃を結構頻りにやっています。これも全体的に広げたいかないと思っしていますが、今日若い方から意見をいただいて私も少し広げていくというところも、今日本当にありがとうございました。

**坂本** 長崎さんが言われた自ら動き出すというところが、聞いていらつしやる方の心に響いたようですね。次、田中さんどうぞ。

**田中** 和泉さんと長崎さんをお願いしたいです。斐伊川で子どもさんを連れて遊ぶ機会を公表されましたが、大変良いことだと思っしています。ただ私も年をとつてから斐伊川にはしよつちゆう行つています。それで感じることは、団体で来られる遊び場は非常にあります。日曜日でも団体で野球したりはありますけれども、個人の方で遊びにい話になつてます。自分で何か目的もつてやるという、生活に自分自身が活気をもつて何かをやりだすという、それが大事だとおつしやっています。最近はどうも何かイベントがあるとそれに参加するというのが非常に多くなつていて、家族だけで何かをされる方が少ないのではないかと、どちらかというとお店の方へ行つたり、イベントがあるとそちらへ流れて行つたり、健康的ないわゆる自然と遊ぶというのを家族でみながらやつていらつしやる方が意外と少ないなと思つております。どうい風にしたらそういう気になつていただけるかなという気が持たずつとあるんです。どうい仕掛けをしたらそういう家族が増えるかなという感じがしています。それから長崎さんですが自治協会の加入者が少ないとのことですが先程の発表のなかにもありました、入らなくても暮らしていただける、何ら支障もない、そんな感じいらつしやる方が非常に多いです。川跡は特に急に人口が増えたといいますが、軒数が増えたという影響もあつて、あんまり自治協会からも自分の近所に家が建つた時も積極的に誘うというところが、どうなつていけるかえらく心配しています。ほんの近くに家が建つた場合はいらつしやるらんぼの中のちよつと離れたところに建てられてもほつたらかしくないというあれですけれども、あんまり積極的に関わらないですね。そういう関係もあつてか、何もしなくても充分住めるという感じの人が多いのではないのでしょうか。ですからどうい働かけをしたら入つていただけるか。前はですね、私たちの頃は、子どもさんが学校へ通うようになりまふと自然と入られるんですよ。今はどうもそうでもないみたいですね。だから家を建ててから、子どもさんが幼稚園、小学校に上がられるようになりまふと自治会に入つたり、学校の後援会に入つたりさ

れておりまふたけれども、ですから前は自然にその家庭が年数が経つて成長されると同時に地域への関心も深まつて、加入されるといふような形だつたと思っいます。そういう風の中々最近では持つていけないのではないかと、子どもさんが上がられても入られない方がいらつしやるのではないかと。その辺をどう掘り起こして行つたらよいのかと感じました。いかがでしょうか。何か良いアイデアが若い方ありますでしょうか。

**坂本** ではまず最初に、和泉さんへのご質問で、個人で斐伊川河川敷を利用する仕掛けみたいなものがあるかなというご質問でした。

**和泉** そうですね本当に土手に遊びに行くのと周りで遊んでいる人はいなくて、我が家だけで遊んでいるのがほとんどな人で行くので、子どもたちはそれが出来ることは知つているので、行きたいという気持ちはあると思つてます。それを連れて行く親や大人が必ずついていないといけないのがあつて行けないのかなというのがありますけど、情報発信をするのがなかなか。夏には北神立橋の下の方で蛍を見たという話を友達から聞いたりするので、そういうのを積極的に「川跡のまちのあそこであつたよ」と「みたいなのがあれば、夜家族で見に行つたりとか、少しでも足を運んでみたらええよ」と、何かちよつとしたことでも情報発信していく、行くのかなと思っいますけど。結局近くに遊具がある公園がすぐ歩ける距離にはなつていて、散歩して行き来するのがほとんどコースにはなつていて遊ぶので、それが無くても子どもたちは結構楽しんで遊ぶので、いろんな発見があつて。なので遊具が無くても遊べるという事と川跡のまちの遊び場のマップ的なものがあればよく分かりやすいのかなと思っいます。

**田中** 子どもさんに引かれる方が多いですか、それとも親さんが誘われる方が多いですか。

**和泉** 子どもに誘われる方が多いですね、我が家は。すぐ「散歩に行こう、散歩に行こう」と言つてくるので。公園についてつとはあまり言わないで、散歩に行きたがるので、よく川跡のまちを歩くような散歩に行きます。

**田中** そうすると川跡の中の遊ぶ良い所をいっぱい知つてもらふことが大切ですね。親さんに。

**和泉** 私は子どもと一緒に発見しているような感じですよ。子どもと一緒に散歩して道路の発見も、こんなところへ出てくるんだとか、こんなところにたくさん花が咲いているんだとか、そういう発見も一緒にしながら散歩するような感じですよ。

